

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立犬居小学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 「学校教育目標」「目指す子供像」を理解し、他の委員の考え方を聞き、新たに視野を広げることができた。
- 校長先生から今年度の方針の丁寧な説明があり、子供たちへの深い思いが伝わってきて心に響くものがあった。目標や目指す子供像の表記が具体的で理解しやすく、共有できた。
- グランドデザインをもとに基本方針について説明を受けた。目指す子供の姿や育てたい力など、具体的に協議することができた。
- 本校の教育目標達成に向けて、活動の詳細な設計がなされており、校長の熱意ある説明もあり、各委員の理解が深まったと思われる。
- 教育目標、目指す子どもの姿をわかりやすい言葉で表現され、校長の熱のある説明を受け、十分理解すると共に委員間でも目標や課題を共有することができた。
- 始めに校長先生から浜松市の目指す子供の姿、春野中学校区の目指す子供像と共に犬居小の学校教育目標、目指す子供の姿、学校や教職員の姿について丁寧に説明があり、理解を深めることができた。全ての委員が積極的に意見を述べやすい雰囲気もできていることが充実した熟議につながっていると思った。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 地域、保護者に広く周知、参加する方策を考え、その取り組みを評価・検証できた。
- 3年目の委員が多く、協議会の雰囲気がなごやかで、わからないことを質問し、意見交換が活発にできた。熟議を円滑に進められた。(学校の雰囲気も良い)
- 児童が学校や地域の良さを深く知り、故郷を愛する心を育む活動の方向を共有することができた。今後も学校運営に保護者や地域がより支援できる方法を協議していきたい。オブザーバー参加の行政等の助言もいただき、確認の上で案件ごとの提案、審議、対処がなされたと思われる。
- 地域に在住しながらも、近所に子供たちの姿はなく、日々の学校の状況については、実感として受け止めきれしておらず、申し訳ない思いである。協議会の雰囲気は良好で、学校、地域をよりよくしたいとの思いのもと、熟議されていた。
- 各委員がそれぞれの立場だからこそその視点で意見を出し合うことができ、考えを深めることができた。各会のテーマ等に沿って積極的に意見を出し合うことはできたが、日頃から学校からのニーズや課題の把握に努め、より充実した教育活動の力になれるようにしていきたいと思った。

＜評価項目3＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 校長先生をもとに、全員で意見を出し合い、学校、家庭、地域で一緒に子供を育てていけるような仕組みづくりを目指す。
- 極小規模校の存続に向けて、学校、保護者、地域が一体となり、PRしていく努力をしていきたい(発信方法の検討)。
- 児童が学校や地域の良さを深く知り、故郷を愛する心を育む活動の方向を共有することができた。今後も学校運営に保護者や地域がより支援できる方法を協議していきたい。
- 前年の卒業生から託された「住もうよ春野！通おう犬居小へ！」のメッセージは一過性で終わらず、地域活動、行政的な事業として継続できる事案と思われる。本校の教育活動の一助となればと期待したい。
- コロナ禍にあっても、創意と工夫がなされた学校教育、行事が行われたと思う。コロナ収束を見通して地域の人（大人）との交流が増えることを期待する。例えば学びの場として、
 - ・地域ぐるみで漢字検定にチャレンジ・文学作品朗読会
 - ・地域参加型体験活動（夏季合宿、映画上映会等）ただ、成果を急がずあせらずできると良いと思う。
- 学校運営の基本方針について更に理解を深め、子供たちのよりよい教育や学校生活のために学校・保護者・地域との連携を深めていけるようにしたいと思う。

＜評価項目4＞ 協議会の運営や学校運営に資する活動について、保護者、地域と連携し協議することができたか。

- コロナ禍で活動が制限された中において保護者、地域と連携して協働することができた。
- 「住もうよ春野！通おう犬居小へ！」のチラシを委員が共通認識することができた。地域の事業所3カ所に趣旨説明し、来町者へ犬居小の取り組みの紹介を依頼することができた。小規模校の良さを生かし保護者や地域を巻き込んだ教育活動が十分にできている。今後も継続的に地域や協議会委員との協働をさらに充実するよう支援していきたい。
- コロナ禍で地域行事が中止または縮小となって久しい。学校の課題においても保護者及び本人との接点となる機会が減少しており、委員の立場から引き続き努力していきたい。
- 以前から学校と保護者、地域との連携はできていたと思いますが、より目的意識的に取り組まれるようになったと思う。
- 続くコロナ禍の中でも、いろいろな活動が再びできるようになり、保護者や地域の方に協力していただくことができた。来年度はもっと広くCSについて知っていただき、連携を深めていけたらと思う。